

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 28-016

PDCA	事務事業名	福祉文化会館管理運営事業	部課等名	教育部 生涯学習課 施設担当	担当	瀧本	
					内線等	23-7331	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち 節： 第2節 生涯学習の推進 基本施策： 1. 生涯学習 単位施策： (1) 生涯学習の拠点の充実 個別施策： ①生涯学習センター機能の拡充					
	根拠法令等	半田市文化会館条例、半田市立公民館条例、半田市老人福祉センター条例、半田市ひとり					
	対象・目的	福祉、教育及び文化振興の活動拠点として、半田市福祉文化会館（雁宿ホール）を適切に管理運営する。					
	目的を達成するための手段・活動内容	主な利用団体である福祉登録団体や社会教育関係団体、また14地区公民館との連携を図り、生涯学習活動の活動拠点として適切な管理運営を行う。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①文化会館利用者数	75,956	69,568	72,966	人	
		②中央公民館利用者数	71,478	62,112	64,246	人	
		③福祉センター利用者数	77,055	22,589	24,454	人	
		事業費	80,164	83,544	82,992	千円	
		人件費	20,431	26,539	26,569	千円	
		総事業費	117,932	110,262	109,561	千円	
		活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位	
	①半田市福祉文化会館利用者1人あたりの管理運営コスト	655	714	677	円/人		
	成 果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		①ホールの稼働率	実績値	57.5	50.7	53.8	%
			目標値	52.0	52.0	60.0	
		②講堂の稼働率	実績値	61.1	61.1	66.6	%
			目標値	75.0	75.0	75.0	
		実績値					
		目標値					
C 課題の整理		観点別評価	必要性	有効性		効率性	
	①市の関与の妥当性		妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない
	②市民ニーズ		高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	C 会議室及び練習室の机・椅子更新及び大ホールのプロジェクター設置、視聴覚室の音響設備の更新など利用環境の整備をした。また、老朽化した受水槽・加圧ポンプや大ホール舞台照明設備の更新をした。新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館があったが、文化会館及び中央公民館の利用者数は昨年度を上回ることができた。 福祉文化会館は開館後、32年が経過しており、大規模な施設改修が必要となっている。また、備品や設備も利用者のニーズに対応する必要がある。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 利用者が安心・安全・快適に利用できるように施設を整備し、半田市福祉文化会館（雁宿ホール）を文化の発信拠点として、積極的に活用する。また、半田市福祉文化会館の魅力をホームページ等で周知し、利用促進を図る。					
	令和2年度の目標	成果指標	目標値	単位			
		①ホールの稼働率	60.0	%			
		②講堂の稼働率	75.0	%			